

～聴覚障害のある総合医として～

～欠格条項は我々にあるのではなかろうか～

今川先生（以下さん）のお話を聞いていて、あまりにもエネルギッシュで障害を感じさせないパワーは何処からきているのだろうと考えさせられました。

実際は様々な困難がったと拝察いたしますが、その困難を乗り越える気概を感じます。人には様々は困難や障害が沢山ありますが、その困難の立ち向かう人と避けてしまいます人がいます。その差はどこから來るのでしょうか？当然、ご本人の努力はあると思いますが、その影響を与える方々の存在もあると思います。ご親族や、ご友人や親しい方かもしれません。大学の恩師や同僚もあると思います。それぞれの方々の影響力+ご本人の努力で今日があるように感じました。

医師になるために欠格条項を廃止する運動の話がありますが、良く考えてみると欠格条項はこちら側（行政やその立場）のあるのではないでしょうか？こんな人が医師になるなんて！という概念が欠格条項のように思えます。

24s2007

民生委員・保護司

加藤正幸